

R4-5 石狩市手話基本条例推進懇話会意見書（案）

令和 4 年度 5 年度石狩市手話基本条例推進懇話会の意見を取りまとめ、市に提出します。

令和 6 年 2 月 日

石狩市長 加藤 龍 幸 様

石狩市手話基本条例推進懇話会
会 長 澤 田 茂 明

R4-5 石狩市手話基本条例推進懇話会意見書

今期（R4-5）の石狩市手話基本条例推進懇話会では、石狩市における手話推進施策事業について、前期（R2-3）からの提言内容や各年度の施策事業の進捗状況などを踏まえ、慎重に審議を重ねてまいりました。

つきましては、下記のとおり審議結果を取りまとめましたので、意見書として提出いたします。

記

前期懇話会（R2-3）から提言のあった 4 つの視点について、今後も継承していく必要があると考えます。

4 つの視点

- 1.災害時の対応
- 2.町内会、自治会等での手話の理解促進
- 3.聞こえない子どもや保護者への支援
- 4.コロナ禍において必要な視点

ただし、「4. コロナ禍において必要な視点」については、新型コロナウイルス感染症が 5 類感染症に移行されたことを鑑み、視点の名称を「現状に即した時代に求められる視点」などと変更することが望ましいと考えます。

また、いま実施している多くの施策事業を推進していくうえで、「持続可能な体制の維持」について検討する必要があると考えます。

検討が必要な理由：施策事業を担っている手話通訳者や関係する人材の育成が喫緊の課題であるため

考えられる方策：大学での手話教育の場の設置などの「若年層への取組み」

一緒に活動をしながら経験を積むなどの「育成スタイルの構築」

過去に携わっていた人への呼びかけなどの「人材の再発掘」 など

○石狩市手話基本条例推進懇話会 委員名簿(任期:令和4年4月1日から令和6年3月31日まで)

役職	氏名	所属
会長	澤田 茂明	社会福祉法人石狩市社会福祉協議会
副会長	中 和彦	公益社団法人北海道ろうあ連盟
委員	杉本 五郎	特定非営利活動法人石狩聴力障害者協会
委員	大室 彰子	北海道手話通訳問題研究会道央支部石狩班
委員	神 由紀	手話サークル“ミズバショウ”
委員	玉手 千晶	石狩ひまわり手輪の会
委員	青山 司	石狩市校長会
委員	長縄 勇紀	一般公募
委員	町田 あゆみ	石狩市保健福祉部障がい福祉課(専任手話通訳者)

○石狩市手話基本条例推進懇話会 開催状況

年度	回数	開催年月日	内容
令和4年度	第1回	令和4年7月4日	<ul style="list-style-type: none"> ・R2-3 懇話会からの提言書について ・施策の推進方針見直し後の事業展開について <施策事業の実施状況の確認>
	第2回	令和4年10月21日	<ul style="list-style-type: none"> ・施策の推進方針見直し後の事業展開について <実施状況に関する意見:手話の普及啓発に関する事項、意思疎通支援の拡充>
令和5年度	第1回	令和5年5月19日	<ul style="list-style-type: none"> ・施策の推進方針見直し後の事業展開について <実施状況に関する意見:手話の普及啓発に関する事項、意思疎通支援の拡充、持続可能な体制の維持>
	第2回	令和5年9月22日	<ul style="list-style-type: none"> ・石狩市手話基本条例制定10周年記念事業について ・施策の推進方針見直し後の事業展開について <実施状況に関する意見:手話の普及啓発に関する事項、意思疎通支援の拡充、持続可能な体制の維持>
	第3回	令和6年2月13日	<ul style="list-style-type: none"> ・R4-5 石狩市手話基本条例推進懇話会意見書について